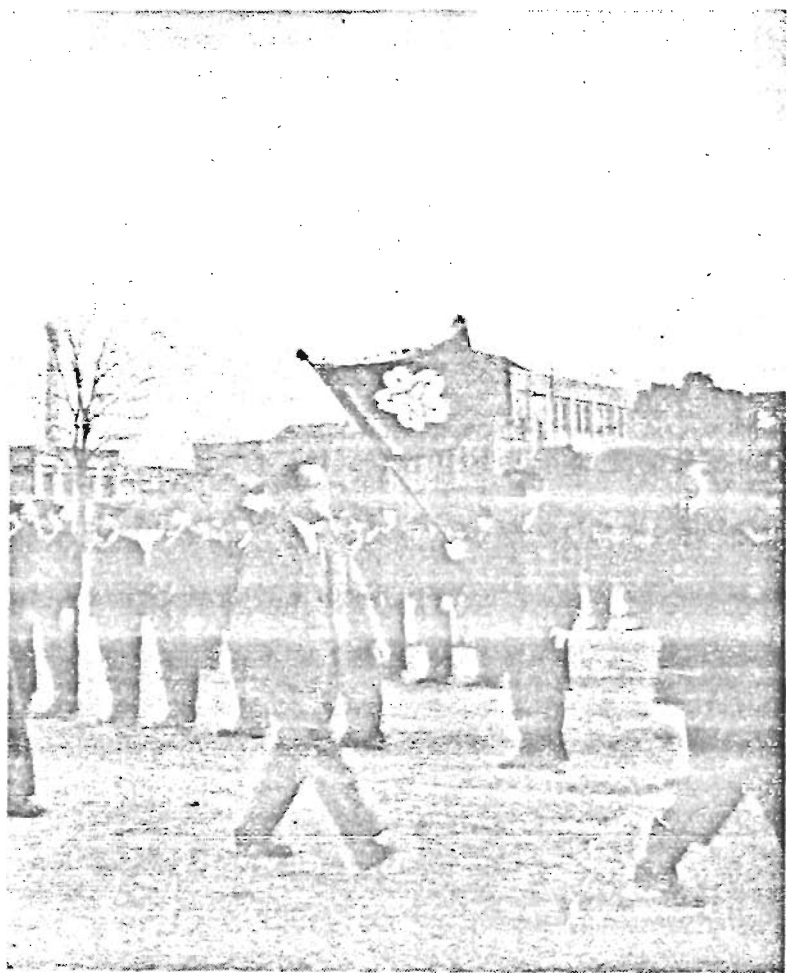


豊島区広報

No. 88.
 昭和 32. 2. 20.
 東京都豊島区役所

豊島消防団 警防始式

豊島消防団恒例の新年始式は去る一月十二日午前十時から学芸大附属小学校グラウンドに、寒風吹き荒れ、砂塵もうもうと立ちこめる中に木下第五方面部長を迎え勝山団長以下二百数十名の精鋭が参加厳粛裡に挙行されました。この日は開式と共に閲団が行われ続いて、優良団員、永年勤続者の表彰が行われ木村区長その他来賓多数の激励の挨拶があり十一時三十分その式を終りました。



豊島区議会開かる

去る十八日に開会された本年第一回目の臨時区議会には左記議案が付議され、慎重に審議されました結果、原案通り議決されました。

記
 一、国家賠償法に基づく損害賠償請求訴訟に対する応訴につ

追加更生予算等審議

二、
 昭和三十一年度東京都豊島区歳入・歳出追加更正

第二次 予算
 追加更正予算額
 ・ 九三、六二八、〇六四円
 昭和三十一年度予算累計額
 七二九、三四一、九八二円

衛生豊島の完成に

冬期衛生強調運動

衛生豊島完成のために夏期衛生強調運動と並んで重要な役割をもつ冬期衛生強調運動を展開するにあたり切に区民の皆様御協力をお願いいたします。今度の運動では衛生の重要分野である蠅の絶滅を期して最も効果的であるサナギのうち完全に退治することを

衛生豊島完成の目標にしております。運動期間としては二月十五日より三月七日を予定し、おりますが、今のうちにサナギを完全に退治すれば最盛期の蠅は七割も減ずるものと言われており、本運動の成果は大いに期待されております。

なお、本運動の概要は蠅の「サナギ」駆除要領として皆様のお手許にお配りすることになっておりますので充分御研究の上積極的な御協力をお願いいたします。

白雪を蹴って

豊島区駅伝大会

若人のもゆるような闘志と健脚を競い合う区長杯争奪豊島区駅伝大会は去る二月三日本年初めての雪の日、午前十時より肌を刺すような寒さを衝き、白雪を蹴って豊島公会堂前をスタート点に、日ノ出二丁目―護国寺―大塚仲町―大塚辻町を経て豊島公会堂前を中継所とする一周四、五〇〇米のコースを精鋭十二チームによつて争われましたが強豪東横チームが二位の日本タ イプチームに三分九秒の差を

- つけて優勝しました。順位は次の通りでした。
- 記
 一着 東横百貨店
 二着 日本タイプ
 三着 武田薬品工
 四着 東鉄豊島寮
 五着 和
 六着 純正舎
 七着 帝都ゴム
 八着 池袋電車区
 九着 国鉄大塚寮
 十着 アキグサ
 十一着 高密工業
 十二着 豊島縫製

昭和31年度歳末助け合い運動収支状況

1. 収入の部

区別	金額
第1地区	175,547円
第2地区	232,282
第3地区	143,017
第4地区	114,032
第5地区	104,869
第6地区	108,772
第7地区	81,980
第8地区	86,415
第9地区	86,270
各地区の計	1,133,184円
篤志家の寄附	73,551
前年度繰越金	117,058
歳出金合計	1,323,793
区費	750,000
歳入合計	2,073,793

2. 支出の部

区別	金額
生活被保護世帯	1,136,320円
生活要保護世帯	289,380
単身入院者	145,500
同上送養(都外入院者)	4,590
都立保育園	32,900
簡易保育園	9,140
私立保育園	13,000
中央児童相談所一時保護	5,000
授産場作業員	14,220
支出合計	1,650,050円

3. 決算の部

収入合計	2,073,793円
支出合計	1,650,050円
繰越金	423,743円

歳末助け合い運動

みごとに実る

前号に御報告いたしましたように「歳末助け合い運動」は区民皆様の絶大な御協力により非常な好成績を挙げることが出来ました。歳末見舞を受けられた方々からの感謝にあふれる札状の数も極めて多く、すでに七十五通にも達しております。これらの札状はすべて区民皆様の温い愛情に対する心からの御礼を表わす。

なお本号では昭和三十一年度「歳末助け合い運動」の総決算として、その実績を収支の明細によつて御報告申し上げます。

機械編物講習会

奮つて御参加を

本区においては、一昨年初めて試み、昨年もまた大好評を得ました機械編物講習会を本年も区民みなさまの強い要望に応え、去る十八日より次のように開催いたしております。

花嫁さん修業の一つとして又この方面への職場への飛躍のためにも区民皆様の多数の参加をお待ちいたしております。

回数	会場	定員	期間	時間
第一回	大塚台小学校	25	2月18日	午後1時30分
	長崎小学校	25	3月16日	午後4時30分
	池袋第二小学校	25	3月16日	午後4時30分
第二回	雑司ヶ谷小学校	25	3月18日	午後1時30分
	西巣鴨小学校	25	4月15日	午後4時30分
	池袋第三小学校	25	4月15日	午後4時30分

豊島区民(年令問わず)

民生委員委嘱状交付式

本区では昨年十二月一日付を以つて改選された新民生委員九十二名に対し、このたび厚生大臣より正式の委嘱状が発令されたので、去る二月八日午後二時より区議会議場に於いて議長、副議長、厚生委員、民生委員、推薦会委員、その他関係者各位の列席の下に木村区長より伝達式が挙行されました。

中学校よさようなら 巣立卒業生激励大会

本校より入場券を配布いたします。なお当日の行事は次の通りです。

は機械を無料でお貸しいたします。機械をお持ちの方は持参下さい。

◎お問合せは区役所民生課へ 電話池袋(97)八〇八一番

- 本区に於いては昭和三十一年度中学校卒業生の中で卒業と同時に実社会に巣立つ青少年のために関係官公署並びに各種団体協力の下に左記により激励大会を開催することになりました。
- なお該当卒業生に対しては各学校より入場券を配布いたします。
- 第一回 二月一日(内地米) 四日分
- 第二回 二月十一日(内地米) 三日分
- 第三回 二月二十一日(内地米) 四日分
- 特配 内地もち米二日分
- 消費者が二日以上以上の受配を希望する場合は販売業者の手持操作に支障のない限り三日分を限度として配給してさしつかえない。
- 希望配給
- 第一回 内地米 五日分
- 第二回 内地米 五日分
- 二月十六日―二月二十八日
- 一人当たり五疋の範囲内で二月一日から二月二十八日まで

- 司会 中学校教育研究会会長 今宮 毅一
- (一)挨拶 青少年問題協議会長 豊島区長 木村 秀崇 教育委員長 根本 匡
- (二)激励の辞 豊島区議会議長 職業安定所長 事業主代表 中学校長会長 豊島 区長 感謝の言葉 生徒 代表 (閉会のことば) 職業安定所長
- 第二部
- (一)講演 司 忠 (二)映画(九巻) 怒涛の男

納税普及に生徒も協力

図案及び書道作品展

昭和三十一年度区民税の第四期分(一月三十一日限)の完納を目的として、納税普及宣伝に役立つポスター図案と書道を例年の通り、区立中学校生徒から募集いたしましたところ、区教育委員会並びに各中学校長の御協力により多数応募せられたので、一応学校側において予選を行い、各学校ポスター九点、書道九点を区役所に提出していただき、区役所はこれを更に審査委員会を設け慎重に審査していただき、その結果、金賞二十四名、銀賞四十八名、佳作一四四

名の入賞者を決定し、一月二十四日振興会館において展示会と入賞者の表彰式を挙行し、木村区長より賞状と賞品が授与せられました。今回の



審査風景

区民税完納促進運動に対する作品入賞者一覧表

○印の数字は学年別を示す

学校名	金賞	銀賞	書方	
第千真長雑高道池朝西大駒 十川和崎谷田和袋日鷺塚込	①①③③①③②②②②②② 新市新細佐島神松牧宮井鈴 井崎村沼々村村野地出木 多木き 正忠紀洋典よ賢致雅広 明子子子子英子一子亮章子	①②①②②②②②①②②③ 三中高二名森久山嶺伊大福 浦野崎渡取下保口田藤竹島 和 淳朝秀朝芳忠俊和安園 子子郎彦美隆彦忠登子子博	①①②②②③②②③②②① 中岡吉梯酒依加鈴黒山清猪 村本岡井田園木木越水瀬 千二ひ 由代君秀三規さ麗真礼敏 利子江勝子子枝中子人子明	②②②①①③③①②①③① 橋島野島加依玉増谷樋井堀 本田村田藤田川地口川谷 か 裕弘明浩梅規正し厚宣澄芳 臣道代子子子子子子子文
	①①①①③①②①①②③① 上和渡木椎横上福藤野須木 野田賢村名山野美口賀戸 千日子 素忠出有香栄博枝和慶典 子子子子子子子子子子子	②②②③③③③①③②③① 吉須谷宮縮若江青野行幡 村田井沢田員月沢木口恵多 かつ幸年忠美モ香美昭忠 子子子烈勝行子子子子子		

盛況裡に終る お客様謝恩の集い

豊島区商店街連合会では、区役所、及び豊島区商工連合会の後援のもとに、区内商店街の日頃の顧客に対する謝恩行事として、一月十八、十九の両日、豊島公会堂に約一万人を招待して、演芸及熱海温泉招待の抽せんを行いました。演芸の内容は次の通りです。

漫落 山遊亭金太郎
才語 トラック
辻ダットサン

浪曲 木村正行
太神楽 海老一 連中
ラヂオ、テレビおなじみの
シャンパロー 柳四郎
落語 三遊亭 金馬
日本舞踊(正派) 西川流家元
西川琴次郎
外大勢
司会 山遊亭 金太郎
尚両日行つた抽せんにより、熱海温泉に招待されたお客様

応募作品は、何れも良い区政の施行は、先ず区民税の納付である、納税期に完納すべき必要性が生徒の純真な気持ちから表現されており、前回に比し一段と納税に対する関心の深さが驚い知られ、一般の納税意欲の喚起にも大いに役立つものと認められたので表彰式後学校の所在する出張所の庁舎内にその優秀作品を展示し、区民の皆さんの展覽に供し納税普及宣伝の一環としてその成果は大なるものがあつたと思ひます。入賞者は左表の方々にあります。

商工相談所と商工融資を御利用下さい

商工相談所は、区役所商工課内におかれ、毎週火曜日の二日、専門の指導員がこれに当り、金融、経営、取引、税務、法規、労務、特許、意匠等の御相談に応じております。

商工相談所 九名
工業関係者 二二名
商業関係者 二二名
金曜日午前十時より午後五時まで行つておりますから、何卒御気軽に御利用下さい。(商工融資についてのみの御相談 御申込は火、金曜日以外の日でも結構です)

特に区の商工融資は、充分なる御利用を頂き、広く喜ばれております。
なお、本年一月中の相談所利用状況は、次のようになつております。

相談件数 三一
内訳 金融関係 二二件
経営関係 五件
取引関係 四件

引揚者に職場を

日ソ国交回復に伴い、昨年未ソ職関係から引揚げて参りました多数の方々は長年異國の地で抑留生活を続けその空白から就職問題には特に困難をきたすものと思われまふ。そこで労働局では職業援護対策をたて、去る一月十日から二月九日までを特別求人開拓強調月間として、ひろく事業主皆様の御理解と御協力を御願いたしました。

当所でも特別求人開拓班を編成して求人開拓に当つてお

池袋公共職業安定所
選挙管理委員会
委員長 長 藤 富 郎
委員 長 藤 富 郎
前委員長 長 藤 源

住宅金融公庫

増築資金貸付申込受付

昭和三十一年度第四回住宅金融公庫増築資金の貸付申込受付が行われております。期間は一月十六日より三月十五日まで、貸付の床面積は一戸当り二坪以上九坪未満とし、貸付金額の限度は増築の場合に標準建設費(坪当り木造三、四、〇〇〇円防火構造三六、〇〇〇円簡易耐火構造四五、〇〇〇円耐火構造二階建以上五五、〇〇〇円三階建以上五五、〇〇〇円)の六割、模様替の場合、(非住宅から住宅に変更する場合)は三割です。償還期間は木造と防火構造が五ヶ年、簡易耐火構造八ヶ年耐火構造十ヶ年以内とし、利率は年五分五厘延滞損害金は日歩五銭です。償還方法は

- 元金均等割賦償還として二ヶ月払いとします。なお十万元以上借入の時は増築に係る不動産を担保とする場合があり、まず貸付を受ける条件として色々ありますが要点として
- (1) 増築に必要な自己資金(標準建設費の四割相当)と当初償還元利金の七倍相当額の月収入(木造十万円借入で当初償還元利金二、一〇〇〇の時収入約一四、七〇〇円)がある場合。
- (2) 貸付をする増築は既存住宅との総延坪数が九坪以上三十坪以下で且つその既存住宅は構造上安全であるとき、その建築上の諸注意は建築課へ御問合せ下さい。

近郊都市へダイヤル直通 東京全局に完成

現在都心部と都南部の三十八局から横浜、川崎、武蔵野、立川、市川、船橋、浦和、川口、大船の近郊九市へは、ダイヤルするだけで直接つながっているが、この二月一日からは、残りの二十九局からも自動市外通話が開通します。したがって二月一日からは都区内の電話全部(但し練馬

北町局からのみは六月ごろに自動改式しそれと同時に)から近郊都市へはダイヤルだけで直接つながるようになり、なおこれと併行して同日から自動市外通話のできる地域は、前記九市ばかりでなく、さらに日吉、青梅、大宮の三市が加わります。自動市外通話のできる地域と

市外局番、料金は次の通りです。

地域	市外局番	市内と同一の料金	市内と異なる料金
横浜	〇五	二円	(四)
川崎	〇四	二円	(三)
武蔵野	〇三	二円	(三)
立川	〇二	二円	(三)
市川	〇一	二円	(三)
船橋	〇〇	二円	(三)
浦和	〇六	二円	(三)
川口	〇七	二円	(三)
大船	〇八	二円	(三)
日吉	〇九	二円	(三)
青梅	一〇	二円	(三)
大宮	一一	二円	(三)

○かけ方は、次に相手の局番(横浜、川崎だけ)と電話番号を回せばよい。ただし、大宮だけは半自動式(準自動市外通話)なので、市外局番を廻すと交換取扱者がでるから、相手の番号を申込みこと。

○料金は、この通話がダイヤルだけでつながるために、市内通話の度数計で計算するので、一度七円の倍数となり、支払請求書の上では市外通話料とならないで度数料の中に含まれる。なお、大船と青梅の料金が三五円から四九円に変わるのは、同地へは今後料金が高い特急通話や至急通話で

なくとも、すぐつながるようになり、電話回線や交換機をふやし、料金を一六進にしたため。

☆かけ方は

○まず市外局番をはじめに指定された番号(市外局番)をダイヤルし続いて相手の局番(横浜、川崎の場合だけ)と電話番号をまわせばよい。

たゞし大宮は市外局番をダイヤルすると交換取扱者がでるから相手の番号をまわすこと。

たとえば、横浜本局一二三四番へかける場合は、(市外) (局番) (局番) 〇五—二—一二三四と7数字をダイヤルすればよい。

○ダイヤルは続けて相手の番号をよく確かめてからかけること。ダイヤルの途中であまり間をあけると切れてしまうことがあります。

○相手の番号を早く確かめる相手のでたらしく確めること。もし間違つたときはすぐ切ること。

(相手が受話器をあげてから6秒以内に切れば料金はかかりません。)

○一通話ごとに予報音(一通話(3分まで)以上

が使用中かどうか必ず確かめてからかけること。○さしこみ電話(移動電話)引続いて通話するときは一通話の終る12秒前から6秒間これを知らせるために予報音(プ、プ、プ、プ……)があります(この音がでて、通話時間に制限はないから、引き続いて何分通話しても切れるようなことはありません。)

共同電話の場合は、相手機)は通話の途中で移動させないこと。(移動すると切れることがある)

○二月一日から：一〇七番がなくなるので、度数や料金を知りたいときは、一〇番へ申込みこと。

○公衆電話(赤電話)からは自動市外通話ができないから、従来どおり店のものに申し込むこと。

第六回豊島区 撞球大会

健全なレクリエーションとしての撞球を広く一般に普及しその発展を促すため本区教育委員会においては次のように第六回豊島区撞球大会を開催いたしました。多数腕自慢の区民みなさまの参加を得て盛会でありました。

記

一、期日 昭和三十二年二月十七日(日曜)午前十一時より

一、場所

- A級 文化撞球場 (池袋東口)
- B級 モンブラン撞球場 (目白駅下車)
- C級 大塚撞球場 (大塚駅下車)

一、参加資格 職業選手以外の区民一般愛好者

一、試合方法

- (イ) トーナメント式
- (ロ) 午前十一時開始
- (ハ) 各級の出場選手は第一回戦までに集まらない場合は棄権したものとしませ

一、表彰 各級の一位より三位までに賞状・賞品の授与